令和5年度　　学校評価自己評価表　（年度当初）

三次市立和田小学校

【学校教育目標】 確かな学力を身に付け，他者との関わりを通して，自らを伸ばそうとする子供の育成
（1） 確かな学力を身に付け，主体的に学び合う児童
（2） 自他を尊重し，豊かな感性と社会性を身に付けた児童
（3） 基本的な生活習慣を身に付け，健康でたくましく生きる児童

【めざす子ども像】
≪知≫ ⇒ 学ぶ喜びを感じる子，考えを表現する子　・・・【学ぶ子】
◎ 生きて働く知識・技能の習得（知識・技能）
◎ 未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力等の育成（思考力）（判断力）（表現力）
≪徳≫ ⇒ 自分の夢や目標に向かって挑戦する子　・・・【挑戦する子】
≪体≫ ⇒ 他者を思いやり，認め合う　・・・【思いやる子】
◎ 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力，人間性等の涵養（主体性）（協働性）

【使命・存在意義】
なりたい自分の夢の実現のために，和田のひと・こと・ものとの対話を通した多様な体験活動を通して，ふるさと和田への郷土愛を育むとともに，変化に対応して生きる力を身に付けた人材の育成に貢献する。

【評価基準】　（達成値）÷（目標値）×100の値
A：目標を達成（100以上）　B：目標をほぼ達成（85以上100未満）
C：目標を下回る（75以上85未満）　D：目標を大きく下回る（75%未満）

	中期経営目標	短期経営目標		具体的な取組・方策	評価項目	中間目標値	最終目標値	中間評価（10月）	最終評価（2月）	結果と課題の説明	改善計画
確かな学力の定着	確かな学力を身に付け，主体的に学ぶ児童の育成	基礎・基本の力，活用力の定着	1	・分かりやすい授業，個に応じた指導により，基礎・基本の力を確実に身に付ける。 ・ＩＣＴ等の活用により，思考を深め，表現するとともに，学びを整理・蓄積する。	・児童アンケート「授業が分かる」85%以上 ・単元末テスト（国算理）「思考力・判断力・表現力」における基準（70%）以上の児童の割合85%以上						
		主体的な学び	2	・児童に疑問や気付きをもたせ，解決の目的を明確にした授業を仕組む。	・職員アンケート「見方・考え方を働かせた授業の実施」85%以上 ・児童アンケート「解決方法を考えながら学習を進める」80%以上						
豊かな心の育成	自他を尊重し，豊かな感性と社会性を身に付けた児童の育成	人を思いやる心の育成	3	・読書を推進するとともに，道徳など教育活動全般において，人を思いやる心を育む。	・読書目標冊数（低：月8冊，高：月4冊）を達成した児童の割合75%以上 ・児童アンケート「自分や友達のことを大切にしている」80%以上						
		人権意識，自己有用感の向上	4	・縦割り班活動，委員会活動，学級活動等で他者と協働して取組む。	・児童アンケート「レベル3（相手の目を見て）の挨拶ができた」80%以上 ・児童アンケート「学級や学校の役に立っている」80%以上						
健やかな体の育成	基本的な生活習慣を身に付け，健康でたくましく生きる児童の育成	基礎体力の向上	5	・体育科の授業，委員会等の児童の主体的な取組により，体力づくりを進める。	・職員アンケート「体育科の授業，委員会，体育的行事の充実」85%以上						
		基本的な生活習慣の確立	6	・メディアの使用の仕方を自ら管理し，健康な生活を送る。	・児童アンケート「家でのメディアルールが守れている」80%以上 ・保護者アンケート「我が子の使用実態を把握している」80%以上						
信頼される学校	保小中高の連携を進め，保護者，地域から信頼される学校	家庭・地域と連携・協働した教育活動の実施	7	・小中一貫教育を基盤とし，地域・保護者と連携・協働して教育活動を推進する。 ・学校評価を学校運営に生かす。	・外部関係者を招聘した教育活動各学年2回以上 ・保護者アンケート「教育活動に関する肯定的評価」80%以上						
		働き方改革の推進	8	・業務改善の推進，職員のタイムマネジメント力の向上を図る。	・職員の超過勤務 月45時間以内80%以上						